

平成26年度事業報告書

平成27年6月

一般財団法人 関西情報センター

目 次

一. 概 況	1
二. 総務事項	1
三. 事 業	4
<u>I. 調査研究、普及・啓発事業</u>	4
＜情報化及び産業の活性化に関する調査研究事業＞	
1. 中堅企業・自治体の IT 経営力強化に資する IT 人材育成等に関する調査 －e-Kansai レポート－	4
＜情報化及び産業の活性化に関する普及・啓発事業＞	
2. 持続可能な社会の実現にむけた IT の役割に関するシンポジウム －インフォテック 2014－	4
3. IT 戦略の再構築とビジネス・イノベーションに関するセミナー	5
4. 関西 CIO カンファレンス	7
<u>II. ビジネス・政策支援事業</u>	9
1. オープンデータ／ビッグデータ研究会	9
2. IT 融合ビジネスパートナーズ (KIIP: KIIS ICT Innovation Partners)	10
3. 大規模災害時における減災・復旧を目的とした情報の共有システム	11
4. 個人情報保護関連人材の育成	11
5. ICT ビジネスソリューションセミナー	12
6. テクニカルライターの会	12
7. 中小企業のための IT ベンダーデータベースの運営(e-情報 BANK)	14
8. 地方シンクタンク協議会	14
9. スマートヘルスケア産業創出事業	15
10. IT を活用した中小企業支援事業	15
11. スマートインフラ研究会(準備会)	15
12. 国・自治体・企業等におけるプロジェクトの受託	16
<u>III. 情報ネットワーク関連事業</u>	17
1. インターネットサービス事業	17
2. 情報セキュリティシステム構築支援事業 (セキュアサポートサービス)	17

3. ネットワーク基盤整備支援事業	17
4. 公共施設情報システムサービス(OPAS/ESPAL)	17
<u>IV. 社会システム支援事業</u>	17
＜社会保健・福祉サービスソリューション＞	
1. 健康保険組合のシステム開発・運用事業	17
2. 総合健康管理ソリューションの開発・提供事業	17
<u>V. 情報化社会基盤整備事業</u>	18
1. プライバシーマークの審査、認定	18
<u>VI. 広報・交流活動事業</u>	18
1. 機関誌「KIIS」の刊行	18
2. KIIS フォーラム（事業成果報告会）	19
3. 新春講演会及び賀詞交歓会	19
4. KIIS メールマガジン、ホームページ	19

一. 概 況

平成 26 年度は、「セキュアサポート」、「スマートヘルスケア」、「災害時の情報共有システム」、「オープンデータ／ビッグデータの利活用」を重点テーマとして、Ⅰ. 調査研究、普及・啓発事業、Ⅱ. ビジネス・政策支援事業、Ⅲ. 情報ネットワーク関連事業、Ⅳ. 社会システム支援事業、Ⅴ. 情報化社会基盤整備事業を実施した。

Ⅰ. 調査研究、普及・啓発事業における事業としては、関西地域における情報化の実態調査とあるべき姿の提言を目的とした「e-Kansai レポート」において、「オープンデータ／ビッグデータ」をテーマとして企業、自治体を対象にアンケートやヒアリングによる現状調査を実施した。最新の ICT に関するテーマを取り上げたシンポジウム「インフォテック 2014」では、「ウェアラブルコンピューティング」をテーマに取り上げ実施した。また、ビジネスイノベーションセミナーでは、「情報セキュリティ」や「IT スキル標準」をテーマとして開催した。

人材育成分野では、関西 CIO カンファレンスを開催し、CIO 相互の情報交換、研鑽の場としてのコミュニティを組成し、CIO の育成を支援した。

Ⅱ. ビジネス・政策支援事業では、オープンデータ／ビッグデータの利活用の推進を目的とした「オープンデータ／ビッグデータ利用推進フォーラム」を立ち上げ、データアナリスト人材の育成やオープンデータ／ビッグデータの利活用推進セミナーを開催した。

また、昨年度に引き続き、内閣府の「地区防災計画」に関連して、全国の地区防災計画作成の支援を行った。

スマートヘルスケアの分野においては、新たなマーケット創出のためにニーズとシーズのマッチングなど新事業開発の支援活動を実施した。

Ⅲ. 情報ネットワーク関連事業では、情報セキュリティシステム構築支援事業（セキュアサポートサービス）において、企業の日常的な活動の中で利用しやすく、かつ安全性の保たれた情報の発信・交換を支援する WEB 系サービスを提供した。インターネットサービス事業では健康・保健分野におけるホームページの構築やサーバーお預かりサービスの提供を実施した。公共施設情報システムサービス（OPAS／ESPAL）においては、ASP／SaaS 技術を活用した地方自治体のスポーツ施設・文化施設の予約サービスを提供した。

Ⅳ. 社会システム支援事業では、健康・保健分野における情報化の推進に関し、健康保険組合の情報化支援において事務処理の効率化や経営の高度化を目的とするシステムソリューションを提供した。また、特定健診・特定保健指導の義務化、レセプトオンライン化などの医療保険制度の改革に沿って、保健・福祉分野でのサービスソリューション事業を継続的に実施した。

Ⅴ. 情報化社会基盤整備事業では、安全・安心な高度情報化社会の実現という観点から、引き続きプライバシーマークの審査事業を実施し、個人情報の保護など情報化社会の基盤整備に貢献した。

二. 総務事項

1. 評議員の異動

当期における評議員の異動は、次のとおりである。

年月日	就 任	退 任
H26. 6. 24	田村 和豊	毛利 隆重
	古堅 一成	廣瀬 雄二郎
	山下 省三	江川 博

2. 賛助会員

賛助会員は、入会 5 社、退会 10 社となり、平成 26 年度末会員数は、172 社となった。

3. 理事会

(1) 第 10 回定時理事会

開催日 平成 26 年 6 月 9 日

議案

- ・平成 25 年度事業報告の承認の件(承認)
- ・平成 25 年度計算書類等の承認の件(承認)
- ・平成 25 年度公益目的支出計画実施報告書の承認の件(承認)
- ・理事全員任期満了につき 10 名選任の件(承認)
- ・顧問 1 名推薦の件(承認)
- ・役員報酬規程の改正の件(承認)
- ・評議員会の開催の件(承認)

報告

- ・業務執行報告について

(2) 第 11 回臨時理事会

開催日 平成 26 年 6 月 24 日

議案

- ・会長(代表理事)、専務理事(代表理事)、常務理事、担当理事の選定の件(承認)

(3) 第 12 回定時理事会

開催日 平成 26 年 11 月 25 日

議案

- ・中期ビジョン基本方針の件(承認)
- ・平成 27 年度事業計画 重点テーマの件(承認)

報告

- ・業務執行報告について

(4) 第 13 回定時理事会

開催日 平成 27 年 3 月 26 日

議案

- ・平成 27 年度事業計画及び予算の件(承認)
- ・評議員会の開催の件(承認)

報告

- ・業務執行報告について

4. 評議員会

(1) 第4回定時評議員会

開催日 平成26年6月24日

議案

- ・平成25年度計算書類等の承認の件(承認)
- ・理事全員任期満了につき10名選任の件(承認)
- ・評議員3名の選任の件(承認)
- ・役員報酬規程の改正の件(承認)
- ・役員の報酬の額の件(承認)

報告

- ・平成25年度事業報告の件
- ・平成25年度公益目的支出計画実施報告書の件

5. 政策委員会

(1) 第74回委員会(平成26年11月12日)

議事

- ・委員の交替について
- ・平成26年度事業中間報告について
- ・中期ビジョン基本方針について
- ・平成27年度事業計画重点テーマについて

講話 近畿経済産業局長 関 総一郎 氏
「日本再興戦略と関西経済の成長への取組について」

(2) 第75回委員会(平成27年3月18日)

議事

- ・平成26年度事業活動報告(総務事項/決算見込み)について
- ・平成27年度事業計画と予算について
- ・政策委員の再任について

6. 職員

職員は、中途採用2名、退職2名、出向採用1名、出向退職2名の異動があり、3月末においては、30名である。

三. 事 業

I. 調査研究、普及・啓発事業

<情報化及び産業の活性化に関する調査研究事業>

1. 中堅企業・自治体の IT 経営力強化に資する IT 人材育成等に関する調査

－e-Kansai レポート－

関西地域における情報化の動向を多角的に捉え分析し、課題解決に向けた提案を行うことを目的とし、調査研究事業「e-Kansai レポート 2014」を実施した。平成 26 年度は、ビジネスにおいてイノベーションを実現するために必要とされる施策等を提案するため「オープンデータ・ビッグデータ」をテーマとした新たな調査研究の実施に向け、各種情報収集を進めるとともに、研究内容や調査委員会の構成等について企画し、10 月 30 日に第 1 回委員会を開催した。委員会では今年度調査の柱となるアンケート調査の調査票案(企業向け、自治体向け)等について議論し、企業向けアンケートとして、関西地区 4,519 社、関東地区 2,265 社を対象に「企業経営におけるデータ利活用に関する調査」を行った。自治体向けアンケートは、「自治体のオープンデータ施策に関する調査」を全国 1,742 自治体に対して行った。また、ヒアリングは企業 15 社、自治体 5 団体を対象に行った。その結果を受けて平成 27 年 3 月 4 日に第 2 回委員会を開催し、中間報告を行なうと共に今後の分析方針等について議論した。

<情報化及び産業の活性化に関する普及・啓発事業>

2. 持続可能な社会の実現にむけた IT の役割に関するシンポジウム

－インフォテック 2014－

住友電気工業株式会社情報システム部の奈良橋部長を委員長に、大阪大学大学院理事補佐の尾上教授をコーディネータに迎え、賛助会員、国・自治体等合計 32 名で企画運営委員会を組織し、5 月 30 日の第 1 回企画運営委員会にてインフォテック 2014 の企画及び運営案について了承を頂いた。7 月 2 日の第 2 回企画運営委員会にて開催日時・場所・プログラム・講師について最終的な了承を頂き、10 月 6 日に「スマートデバイスの発展がもたらすビジネスイノベーションとは」をテーマに講演やパネルディスカッションを実施した。また、12 月 16 日に第 3 回企画運営委員会を開催し、インフォテック 2014 の評価と次年度開催予定のインフォテック 2015 について議論した。

テーマ：「スマートデバイスの発展がもたらすビジネスイノベーションとは」

日 時：平成 26 年 10 月 6 日(月) 10:00～17:15

場 所：大阪国際会議場(グランキューブ大阪) 12F 特別会議場

内 容：

基調講演：スマートデバイスによるイノベーション創出の課題と可能性

神戸大学 大学院工学研究科 教授

塚本 昌彦 氏

招待講演 1：スマートデバイスの進化と企業におけるモバイル活用の変化

株式会社野村総合研究所 IT 基盤イノベーション事業本部

基盤ソリューション企画部 上級研究員 藤吉 栄二 氏

招待講演 2：ビッグデータを活用した、安全で快適なモビリティ社会を目指した
取り組み

本田技研工業株式会社 役員待遇参事 グローバルテレマティクス部
今井 武 氏

招待講演 3：JSSEC MDM セキュリティガイドラインの概要

日本電気株式会社 スマートデバイスビジネス本部 エキスパート
関 徳男 氏

パネルディスカッション

ファシリテーター：

大阪大学 理事補佐 大学院情報科学研究科 教授 尾上 孝雄 氏

パネリスト：

株式会社野村総合研究所 IT 基盤イノベーション事業本部
基盤ソリューション企画部 上級研究員 藤吉 栄二 氏

本田技研工業株式会社 役員待遇参事 グローバルテレマティクス部
今井 武 氏

株式会社ブリリアントサービス 代表取締役 杉本 礼彦 氏

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 通信ネットワーク事業部 事業主管
木下 泰三 氏

参加者：170 名

3. IT 戦略の再構築とビジネス・イノベーションに関するセミナー

厳しい経済情勢の中で企業や自治体における IT 戦略再構築に資するために、情報化部門のビジネスイノベーションにつながる社会動向や最新の技術動向等を提供するセミナーを開催した。

■第 16 回ビジネスイノベーションセミナー

テーマ：重要インフラセキュリティセミナー

～重要インフラを支える情報セキュリティ対策とシステム高信頼化に
向けた取り組み～

日 時：平成 26 年 12 月 4 日(木) 13：30～16：50

場 所：大阪大学中之島センター

内 容：

基調講演：深刻化するサイバー攻撃が企業活動に及ぼす影響

名古屋大学 情報基盤センター

情報基盤ネットワーク研究部門 教授 高倉 弘喜 氏

講 演：システム障害事例情報の分析に基づく教訓・対策を共有する仕組み
～智の共有が安心・安全社会を創る～

独立行政法人情報処理推進機構 ソフトウェア高信頼化センター

システムグループリーダー 山下 博之 氏

特別講演：わが国の重要インフラにおける情報セキュリティ対策

内閣官房情報セキュリティセンター

重要インフラ対策担当 参事官 本間 祐次 氏

参加者：53 名

■第17回ビジネスイノベーションセミナー

テーマ：実践クラウドセキュリティセミナー

～ケーススタディを通じて学ぶ『実践クラウドセキュリティ』～

日時：平成27年1月29日(木) 10:00～17:00

場所：一般財団法人関西情報センター

内容：

基調講演：クラウド時代に必要なセキュリティ意識と対策

— 現在と未来において何が問題なのか? —

神戸大学大学院 工学研究科 電気電子工学専攻 教授

森井 昌克 氏

講演：今までの人材育成は通用しない？

クラウド時代に本当に必要な教育とは

株式会社ラック セキュリティアカデミー

プロフェッショナル・フェロー 長谷川 長一 氏

実践セミナー：ケーススタディを通して学ぶ『実践クラウドセキュリティ』

株式会社ラック セキュリティアカデミー

プロフェッショナル・フェロー 長谷川 長一 氏

社団法人クラウド利用推進機構

総合アドバイザー 吉田 雄哉 氏

株式会社ディアイティ セキュリティサービス事業部

部長 山田 英史 氏

参加者：41名

■第18回ビジネスイノベーションセミナー

オープンデータ・ビッグデータ 利用推進フォーラム シンポジウム

テーマ：データ活用先進事例からみる事業創出に向けた取り組みと課題

日時：平成27年3月23日(月) 13:00～18:30

場所：公益社団法人国民會館 中ホール

内容：

基調講演：ビッグデータ利活用のための人材と事業創出の可能性

立教大学 経営学部 経営学科 教授

佐々木 宏 氏

講演：データサイエンティスト協会における人材育成の取り組み

一般社団法人データサイエンティスト協会 事務局長補佐

橋本 武彦 氏

事業報告：オープンデータ・ビッグデータ利活用に向けたKIISの取り組み

～オープンデータ・ビッグデータ利用推進フォーラム及び

e-Kansai レポート事業経過報告～

事業推進グループ リーダー・主任研究員

石橋 裕基

パネルディスカッション

「データ分析・活用によるビジネス拡大」

コーディネータ：立教大学 経営学部 経営学科 教授

佐々木 宏 氏

パネリスト：

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 自動車業務部

首席システム調査役 城戸 信弘 氏

オムロン株式会社 技術・知財本部 技術専門職

中嶋 宏 氏

富士通株式会社 ネットワークサービス事業本部

IoT ビジネス推進室 室長 須賀 高明 氏

インフォコム株式会社 ヘルスケア事業本部

データサイエンスグループ

事業統括マネージャー 森下 正次郎 氏

参加者：51名

4. 関西 CIO カンファレンス

関西 CIO カンファレンス 2014 は、「ビジネスイノベーションに資する IT 組織のリデザイン」をテーマに、円卓会議とシンポジウムの 2 部構成によって開催した。また、関連事業として、関西で活躍する CIO 同士の情報交換、人的交流の促進を目的とした関西 CIO ネットワークサロンを 4 回、情報部門の技術者のスキルアップを目指した次世代 IT 企画人材育成セミナーを 1 回（4 日間）開催した。

(1) 関西 CIO カンファレンス

日時：平成 26 年 7 月 18 日（金） 10:00～17:00

場所：リーガロイヤルホテル

内容：

① CIO 円卓会議（10:00～12:00）

テーマ：ビジネスイノベーションに資する新たな IT 部門のあり方

コーディネータ：一般社団法人クラウドサービス推進機構 代表理事

松島 桂樹 氏

アドバイザー：明治大学 経営学部 教授

岡田 浩一 氏

スピーカー：株式会社アドバンスクリエイト 常務執行役 IT 統括部長

村上 浩一 氏

コイズミ照明株式会社 経営管理部 部長

佐久間 晋 氏

株式会社ダイフク 経財本部 情報システム部 部長

田渕 雅志 氏

ベニックスソリューション株式会社 管理本部 総務部長兼勤労グループ長

山田 滋己 氏

株式会社デジアサ 取締役統括局長

吉田 豊一 氏

株式会社 MonotaR0 執行役 コンテンツ開発室長

安井 卓 氏

② シンポジウム（13:00～17:00）

基調講演：新たな競争がゲームのルールを変える

ー日本企業の新しい勝ちパターンー

早稲田大学商学大学院 教授

内田 和成 氏

研究発表：クラウド導入の課題と効果(「e-Kansai レポート2014」より)

一般財団法人関西情報センター 事業推進グループ リーダー

石橋 裕基

事例発表：芝園開発株式会社 代表取締役

海老沼 孝二 氏

有限会社瑞穂 専務取締役 事業統括部長

丸山 長宏 氏

株式会社仁張工作所 代表取締役

仁張 正之 氏

パネルディスカッション「経営戦略のコアとなる IT」

コーディネータ：一般社団法人クラウドサービス推進機構

代表理事 松島 桂樹 氏

パネリスト：明治大学 経営学部 教授

岡田 浩一 氏

事例発表講演者 3名

参加者：円卓会議 44名、シンポジウム 85名

(2) 関西 CIO ネットワークサロン

■第1回

日時：平成26年6月13日(金) 17:30~20:00

場所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：情報セキュリティの最新動向について

講師：立命館大学 情報理工学部 教授

上原 哲太郎 氏

■第2回

日時：平成26年9月8日(月) 17:30~20:00

場所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：営業貢献できる B2B マーケティング

講師：インフォテリア株式会社 マーケティング本部長

堀野 史郎 氏

■第3回

日時：平成26年11月6日(木) 17:30~20:00

場所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：ゲーミフィケーションと VR・AR で進化したプロモーションを学ぶ

講師：株式会社アーティフィス 代表取締役社長

長野 稔樹 氏

■第4回

日時：平成27年3月5日(木) 17:30~20:00

場所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：DMP 導入の実情

講師：株式会社ロックオン 事業戦略ユニット

中川 仁 氏

(3) 次世代 IT 企画人材育成セミナー2014

テーマ：「顧客価値」を実現するビジネスの創り方

■第1回「新規事業を創出するための発想方法」

日時：平成26年12月19日(金) 15:00~17:30

■第2回「新規事業企画書策定(その1)」

日 時：平成27年1月23日(金) 15:00～17:30

■第3回「新規事業企画書策定(その2)」

日 時：平成27年2月13日(金) 15:00～17:30

■第4回「新規事業企画書の発表」

日 時：平成27年3月6日(金) 15:00～17:30

講 師：株式会社ロックオン ソリューションユニット長 宗平 順己 氏

若松経営情報研究所 代表 若松 敏幸 氏

小島総合研究所 代表 小島 康男 氏

株式会社オーグス総研 技術部ビジネス・イノベーションセンター

仙波 真二 氏

近畿大学 経営学部 准教授

布施 匡章 氏

場 所：一般財団法人関西情報センター

(講師、場所は4回とも同じ)

II. ビジネス・政策支援事業

1. オープンデータ/ビッグデータ研究会

「データ流通」をメインテーマとしたオープンデータ/ビッグデータ利活用推進セミナーを会員企業(インフォテリア株式会社、株式会社NTTデータ/株式会社NTTデータ関西、日本電気株式会社、株式会社日立製作所、富士通株式会社)の協賛により3回実施した。また、「客観的なデータに基づく判断」ができるスキルを養成する、実務・実践型のテクニカルセミナーを開催した。

(1) オープンデータ/ビッグデータ利活用推進セミナー

■第1回

日 時：平成26年9月19日(金) 13:30～17:00

場 所：AP大阪駅前梅田1丁目 APホール

講演1：企業の壁を超えたデータ利活用による新産業創出に向けて

～データ駆動型(ドリブン)イノベーション創出戦略協議会の活動から～

経済産業省 商務情報政策局 情報経済課 課長補佐 利光 秀方 氏

講演2：データ・ジャケット：データ市場創造のための技術

～データの価値発見からビジネス創出へ～

東京大学 工学系システム創成工学専攻 大澤幸生研究室

早矢仕 晃章 氏

講演3：ビジネス課題とデータから見る、ビッグデータ活用

～30社超の事例で知るベストプラクティス～

日経ビッグデータ 副編集長

市嶋 洋平 氏

参加者：95名

■第2回

日 時：平成26年11月5日(水) 14:00～16:30

場 所：大阪大学中之島センター

講演1：データ利用環境の変化と期待

一般財団法人日本情報経済社会推進協会 電子情報利活用研究部 部長

坂下 哲 氏

講演2：パーソナルデータ収集の多様化と問題点

株式会社国際社会経済研究所 情報社会研究部 主幹研究員 東 富彦 氏

参加者：57名

■第3回

日 時：平成27年3月11日(金) 13:30～17:00

場 所：OMMビル会議室

講 演：ITで地域の問題解決 ～ Code for Japan ～

一般社団法人コード・フォー・ジャパン 代表理事

関 治之 氏

トークセッション：ビジネスとしての「地域課題解決」の可能性

～ Civic Techは地域経済を活性化させるか ～

一般社団法人コード・フォー・ジャパン 代表理事

関 治之 氏

静岡県 企画広報部 情報統計局 情報政策課 主査

杉本 直也 氏

NPO 法人コミュニティリンク 理事

榊原 貴倫 氏

参加者：64名

(2)テクニカルセミナー

■第1回

日 時：平成26年10月23日(木)～24日(金) 各日9:30～18:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

講 師：大阪ガス株式会社 情報通信部

河村 真一 氏

株式会社オージス総研 ソリューション開発本部

データアナリシス部 第三チーム 西脇 清行 氏

参加者：10名

2. IT 融合ビジネスパートナーズ (KIIP : KIIS ICT Innovation Partners)

ICT分野を軸に中小・中堅・ベンチャー企業等が持つ優れた技術提案やビジネス提案と関西の大手企業等が持つ製品開発力を結びつけ、新たな製品やサービスの開発につながるプラットフォームを運営し、中小・中堅・ベンチャー企業と大手企業とのパートナー作りを支援するためのビジネスフォーラムを4回開催した。

【KIIP ビジネスフォーラム】

■第1回 日 時：平成26年7月9日(水) 14:30～18:00

協 力：京都商工会議所

参加者：52名

発表企業：株式会社 魁半導体、佐々木化学薬品株式会社、
二九精密機械工業株式会社、和晃技研株式会社

- 第2回 日 時：平成26年10月2日(木) 14:00～18:30
 協 力：尼崎信用金庫
 参加者：60名
 発表企業：株式会社有明システム、株式会社カワグチマック工業、
 関西工事測量株式会社、株式会社グローバルエンジニアリング、
 国際振音計装株式会社、竹内電機株式会社、藤原工業株式会社
- 第3回 日 時：平成26年12月15日(月) 13:30～18:00
 協 力：株式会社京都銀行
 参加者：81名
 発表企業：株式会社アロマジョイン、イーセップ株式会社、株式会社SOBA
 プロジェクト、株式会社第一精工舎、株式会社エマオス京都、
 フェイバー・アプリケーションズ株式会社、リボンディスプレイ
 ジャパン株式会社
- 第4回 日 時：平成27年2月18日(木) 15:30～19:00
 協 力：池田泉州キャピタル株式会社
 参加者：110名
 講 演：株式会社LGホールディングス 常務／事業協力チーム
 新チーム長 崔 光烈 氏
 発表企業：M2Mテクノロジーズ株式会社、株式会社三次元メディア、
 株式会社新日本テック、株式会社ワイズ・ラブ

3. 大規模災害時における減災・復旧を目的とした情報の共有システム

災害情報共有システム研究会の実施に向け、国土地理院等の関連機関・団体に対し、事前調査及びヒアリングを実施した。4月21日にかんさい生活情報ネットワーク協議会と連携して、ライフラインやメディアとの第1回意見交換会を開催し、8月26日に第2回意見交換会を大阪歴史博物館にて開催した。また、10月6日には同協議会の仕組みを活用した九州経済連合会での取組みに対する支援及びキックオフ会合へ参画した。

4. 個人情報保護関連人材の育成

個人情報保護の普及啓発と質の高い審査員養成を目指し、一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)のプライバシーマーク指定研修機関として認定を受け、プライバシーマーク審査員補養成研修を1回、フォローアップ研修を4回開催した。

■審査員補養成研修

日 時：平成26年10月31日(金)～11月4日(火) 各日9:10～18:00
 場 所：一般財団法人関西情報センター
 参加者：10名

■フォローアップ研修

①日 時：平成26年5月15日(木) 13:00～17:40
 場 所：一般財団法人関西情報センター
 参加者：32名

- ②日 時：平成 26 年 6 月 14 日(土) 13:00～17:40
場 所：特定非営利活動法人中四国マネジメントシステム推進機構
参加者：27 名
- ③日 時：平成 26 年 11 月 12 日(水) 13:00～17:40
場 所：特定非営利活動法人中四国マネジメントシステム推進機構
参加者：15 名
- ④日 時：平成 26 年 11 月 21 日(金) 13:00～17:40
場 所：一般財団法人関西情報センター
参加者：24 名

5. ICT ビジネスソリューションセミナー

最新の ICT をテーマとして、有識者等による情報提供に加え、協賛企業による具体的な製品やサービスの利活用によるソリューション提案を行うセミナーを開催した。

■行政情報化の最新動向セミナー ～番号制度のその先へ～

- 日 時：平成 26 年 7 月 9 日(水) 13:30～16:00
場 所：グランフロント大阪 ナレッジキャピタル
主 催：一般財団法人関西情報センター
協 賛：日本電気株式会社
内 容：
基調講演：番号(マイナンバー)制度の最新動向
～民間(金融・医療等)への利活用推進に向けて～
内閣官房 社会保障改革担当室
講 演 1：地方公共団体における情報基盤統合先進事例のご紹介
新宿区 総合政策部 情報政策課 情報政策主査 村田 新 氏
講 演 2：番号制度に適した地方公共団体におけるネットワークとは
日本電気株式会社 公共ソリューション事業部 事業部長代理
青木 英司 氏
参加者：77 名

6. テクニカルライターの会

モバイル機器やネットワーク接続家電製品に代表される高機能な家電製品の増加や高齢化社会の進展に対応した、利用者によりわかりやすい取扱説明書や WEB マニュアルなどを提供することを目的として、マニュアル制作に関する技術や、テクニカルコミュニケーションを取り巻く最新動向等の情報交換を図るべく、6 回の定例会とフォーラム 2015 を実施した。

■第 1 回定例会

- 日 時：平成 26 年 6 月 27 日(金) 15:00～17:00
場 所：一般財団法人関西情報センター
テーマ：編集・デザインの基礎知識～取説も含む～(新人研修などに、うってつけ)
講 師：株式会社ハル 取締役 橋本 鉄也 氏
参加者：22 名

■第2回定例会

日 時：平成26年7月30日(水) 15:00～17:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：Framemaker 12でのマルチパブリッシング、マルチデバイスパブリッシング

講 師：アドビシステムズ株式会社 仁村 一利 氏

株式会社情報システムエンジニアリング 黒田 聡 氏

参加者：17名

■第3回定例会

日 時：平成26年9月10日(水) 15:00～17:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：美しさと使いやすさを超えて

～認知デザイン学から見た新しいデザインの視点～

講 師：金沢美術工芸大学 准教授 荷方 邦夫 氏

参加者：21名

■第4回定例会

日 時：平成26年10月22日(水) 15:00～17:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：クロスメディアとマニュアルの関係性

講 師：株式会社ハル 取締役 橋本 鉄也 氏

参加者：15名

■第5回定例会

日 時：平成26年12月1日(金) 15:00～17:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：「外国の人にもわかりやすい」日本語

～テクニカルライターと日本語教師による文書書き換え調査から～

講 師：国立国語研究所 教授 野田 尚史 氏

参加者：21名

■第6回定例会

日 時：平成26年1月28日(水) 15:30～17:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：利用者を考慮したマニュアル制作

～ユニバーサルデザインの視点から～

講 師：PFU ソフトウェア株式会社 テクニカルコンテンツ統括部 聖川 太 氏

参加者：10名

■フォーラム2015

日 時：平成27年2月20日(水) 13:00～18:00

場 所：中央電気倶楽部

テーマ：「Web時代のインターフェースを考える」
～ 紙のときのままでええわけないやん ～

講師：有限会社ユーザーフレンドリー 取締役社長 岡本 浩 氏
金沢美術工芸大学 准教授 荷方 邦夫 氏
アベイズム株式会社 中部編集推進リーダー 上坂 上 氏
関西大学 准教授 菅村 玄二 氏

パネルディスカッション：

「Web時代のインタフェースとテクニカルライティングの近未来」

進行：関西大学 教授 比留間 太白 氏

パネリスト：金沢美術工芸大学 准教授 荷方 邦夫 氏

アベイズム株式会社

中部編集推進リーダー 上坂 上 氏

関西大学 准教授 菅村 玄二 氏

参加者：30名

7. 中小企業のためのITベンダーデータベースの運営(e-情報BANK)

e-情報バンクを運営し、ITを使って経営改善や効率化を考えている中堅・中小ユーザー企業の方々と、自社で得意とするITの取組を紹介したいITサービス企業やITコーディネータに対して58件の有益な情報提供を行った。

8. 地方シンクタンク協議会

全国のシンクタンク(57機関)で組織する地方シンクタンク協議会の運営事務局として、各種交流活動等の事業を円滑に遂行するとともに、地域からの情報発信や地域間交流の促進を図るため、4月25日に第122回幹事会(於:KIIS)を実施し、6月18日に総会を大阪で開催した。12月18日には下記のとおり平成26年度シンクタンクフォーラムを開催した。また、平成27年2月13日に近畿ブロック交流会をグランフロント大阪において開催し、2月27日、28日には第13回経営者会議を淡路夢舞台国際会議場において開催した。

■シンクタンクフォーラム

日時：平成26年12月18日(木) 13:00～17:00

場所：東京グリーンパレス

テーマ：地域活性化による日本の成長戦略 ～ 今後の展望から ～

内容：①講演

「地域活性化による日本の成長戦略」

内閣官房 地域活性化統合事務局 次長 麦島 健志 氏

「地域資源を活用した地域活性化に向けた施策強化について」

経済産業省 中小企業庁 経営支援部 創業・新事業促進課長

坂本 里和 氏

「新たな広域連携について」

総務省 自治行政局 市町村課長

小宮 大一郎 氏

「農林漁業の6次産業化の展開」

農林水産省 食料産業局 産業連携課長

信夫 隆生 氏

「地域公共交通に関する施策」

国土交通省 総合政策局 公共交通政策部 交通計画課長

海谷 厚志 氏

②「論文アワード2014」表彰式

参加者数：92名

9. スマートヘルスケア産業創出事業

平成26年度経済産業省委託事業「新産業集積創出基盤構築支援事業」(ヘルスケア「IT融合型健康ライフ」)に応募・採択され、関西地域が有する多様な強みや特徴、潜在力等を積極的に活用した新たな成長産業群の創出・育成をすることを目指し下記のイベントを開催した。あわせて関西地域において介護・福祉・健康分野に進出している企業18社のITシステムや電子機器の事例を取りまとめた中小企業事例集「Challengers」を作成した。

■スマートヘルスケア産業創出パワーアップフォーラム

日時：平成26年10月7日(火) 14:00～16:45

場所：ブリーゼプラザ

参加者：143名

■体感 触れて感じて発見 スマートヘルスケアビジネスフェア

日時：平成26年11月25日(火) 10:00～17:00

場所：りそな銀行大阪本店

参加者：450名

■スマートヘルスケア未来市場創造委員会

日時：平成27年2月27日(火) 14:00～16:30

場所：第二吉本ビル

参加者：21名

■聴いて、見て、効く ヘルスケア・マッチングイベント

日時：平成27年3月3日(火) 13:30～16:45

場所：グランフロント大阪

参加者：85名

10. ITを活用した中小企業支援事業

近畿経済産業局等との共催にて、6月13日に「ものづくりIT利活用セミナー」を和歌山ビッグ愛において開催し、55名の参加を得た。

11. スマートインフラ研究会(準備会)

高度成長期に大量に構築された社会インフラの老朽化が進み、危険性の拡大、保全費用の増大が進んでおり、効率的な保全(予防保全)を進めることで、社会インフラの安全性の確保と長寿命化の実現が望まれている。そのためにセンサーの利活用が求められているが現状は実用化が進んでいない。このような背景を受け、11月13日及び平成27年

2月17日の準備会にて、センサーの高度利用に向けた課題を議論し、センサーへのコード付与やセンサー管理データの標準化等について、平成27年度から本研究会にて検討していくこととした。

12. 国・自治体・企業等におけるプロジェクトの受託

(1) 仕事と生活の調和に関する原稿作成業務

内閣府が毎月末1回発行するメールマガジン「カエル！ ジャパン通信」を通じて、企業における仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進する上で、またワーク・ライフ・バランスを企業の経営戦略として取組む上で参考となる情報を提供するため、ワーク・ライフ・バランスに関する調査研究を実施し、それに基づくメールマガジン原稿の作成を行った。

(2) 現代版井戸端会議研究会支援業務(地域主権時代における現代版井戸端会議導入によるコミュニティマネジメントの実証研究 研究会支援業務)

大手前大学 畑 准教授を研究代表者として実施する標記科研費助成事業「地域主権時代における現代版井戸端会議導入によるコミュニティマネジメントの実証研究」に対し、第3年度目の活動として研究会支援業務を開始した。前年度実施したアンケート結果を分析し、平成26年7月の地域活性学会において報告した。

(3) 平成26年度版防災白書の特集部分の案の作成

地域コミュニティにおける共助による防災活動に関する意識について、前年度実施したアンケート調査結果を基に原案を作成した。

(4) 地区防災計画の全国展開に係る調査業務

「地区防災計画の全国展開に係る調査業務」(内閣府)に応募・採択された。当業務において、アドバイザーボード会議を設置・開催(4回)すると共に、当会議のアドバイス・指導の下に、モデル地区の選定(全国15地区)、各地区におけるワークショップの開催支援、計画作成の進捗状況を踏まえたアドバイスおよび地区防災計画の普及に向けての検討等を行った。また、平成27年3月14日に各地区の取組事例を発表する「地区防災計画モデル地区フォーラム」を東京エレクトロンホール宮城にて開催し185名の参加を得ると共に、こうした一連の事業実施内容を報告書として取り纏めた。

(5) IoT/IoEのビジネス環境とその発想を促す試行的ワークショップによる産業育成方策に関する調査(近畿経済産業局受託)

すべてのものがインターネットに接続するIoT/IoEの時代において、ネットワークを介した新たな情報サービスを組み込んだ商品が生まれてきている。このような環境の変化に対して、関西の企業が対応し、さらに活性化するために事例の調査を行い、事例集を作成するとともに、平成27年2月24日には新たなアイデアを生み出すためのワークショップを開催した。

Ⅲ. 情報ネットワーク関連事業

1. インターネットサービス事業

健康保険組合・病院向けのホームページ運用支援サービスを、41 組合(病院含む)に提供した。また、WEB 医療費通知サービスを 29 組合に、サーバお預かりサービスを 8 組合に提供した。

2. 情報セキュリティシステム構築支援事業 (セキュアサポートサービス)

パスワード共有サービス、ファイル転送サービス、Palne/SE サービスについて安定的に提供した。システム開発受託事業では、顧客管理システムの開発を受託した。また、5 月 16 日には新入社員などを対象としたセミナー「情報セキュリティと個人情報保護 初級編」を開催し 29 名の参加を得た。

3. ネットワーク基盤整備支援事業

大阪府の公募公債入札システムを安定的に提供した。

4. 公共施設情報システムサービス(OPAS/ ESPAL)

スポーツ施設を対象とした予約システムである OPAS は、平成 27 年 1 月から南河内郡太子町、河南町、千早赤阪村の 3 団体が参加し、さらに 2 月からは富田林市の参加により 20 団体に対して安定したサービスを提供した。また、スポーツ施設、文化施設を対象とした予約システムである ESPAL では、10 月 1 日より新たに神戸市のスポーツ施設を対象としたサービスを開始し、6 団体に対して安定したサービスを提供した。

※OPAS (Osaka Public Access Service) スポーツ施設情報システム ASP サービス
ESPAL (the Establishment System of Portal And Lead) ASP 型施設予約システム

Ⅳ. 社会システム支援事業

<社会保健・福祉サービスソリューション>

1. 健康保険組合のシステム開発・運用事業

業務システム 83 ユーザの運用に関し、システムの安全・正常稼働を実施するとともに、法改正に対応したシステム更新と導入作業を実施した。また、クラウド化の進展を見据えて新システムの開発及びユーザへの試験的導入を実施した。さらにはマイナンバー制度導入に対応してシステム対応準備を進めた。なお、激甚災害の発生等を想定した BCP に基づき、電算開発センターを宇治電ビルディングへ移転した。

2. 総合健康管理ソリューションの開発・提供事業

業務システム 158 ユーザの安定稼働の管理及び新規顧客の開拓を実施するとともに、総合健康管理ソリューションの各システムについて顧客ニーズに対応した機能強化を図った。また、国の成長戦略に基づいて健保組合が実施する「データヘルス計画」策定を支援するため「総合健康マネジメントシステム」の機能追加を行うと共に、「データヘルス計画支援説明会」を開催した。

V. 情報化社会基盤整備事業

1. プライバシーマークの審査、認定

個人情報保護の推進を目的とし、プライバシーマーク指定審査機関として、平成 18 年度から開始したプライバシーマーク付与認定の審査・認定業務を継続して実施した。(対象は、近畿地区 2 府 4 県と福井県に本社のある事業者)。

全体的には、プライバシーマークの認知度が進み、利用している有効事業者は増加しているが、伸び率は鈍化している。当財団に於いては、受付・現地審査件数・認定件数共に前年度実績を上回ることが出来た。ただ 新規申請件数は微増で伸び率は鈍化しており、今後も更なる事業の拡大を目指し、制度の普及・PR に努めたい。

平成 26 年度の実績	：	受付	803 件	(新規	119 件、更新	684 件)
		審査	802 件	(新規	112 件、更新	690 件)
		認定	764 件	(新規	87 件、更新	677 件)

VI. 広報・交流活動事業

1. 機関誌「KIIS」の刊行

■機関紙 149 号 (平成 26 年 7 月発行)

①平成 25 年度実施事業からの報告

- ・「e-Kansai レポート 2014 ～企業・自治体におけるクラウド導入と IT 人材キャリアパスの提案～ 調査結果概要」
- ・「情報セキュリティ人材育成の重要性
～四国地域情報セキュリティ人材育成推進事業から～」
- ・「関西スマートヘルスケア産業創出事業」
- ・「地区防災計画制度のご紹介」

②「オープンデータ・ビッグデータ利用推進フォーラム」の開催について

③賛助会員企業のご紹介

配布先：賛助会員 等

■機関紙 150 号 (平成 27 年 1 月発行)

①特集「オープンデータ」

- ・特集テーマについて
- ・経済産業省のオープンデータへの取り組み
- ・福井県のオープンデータの取り組み
- ・リンクド・オープンデータ・イニシアティブの活動について
- ・オープンデータ社会

②KIIS の事業紹介

- ・Infotech2014
ースマートデバイスの発展がもたらすビジネスイノベーションとはー
- ・オープンデータ・ビッグデータ利用推進フォーラムの開催について

③賛助会員企業のご紹介

配布先：賛助会員 等

2. KIIS フォーラム（事業成果報告会）

日 時：平成 26 年 7 月 31 日（木） 13:30～17:15

場 所：第二吉本ビルディング

内 容：

第一部【特別講演】

「ビッグデータを経営に活かすための分析力とデータ基盤整備」

大阪ガス株式会社 情報通信部 ビジネスアナリシスセンター

所長 河本 薫 氏

株式会社オージス総研 データアナリシス部

第 4 チーム マネジャー 杉本 浩秋 氏

「オープンデータ・ビッグデータ利用推進フォーラム」について

総務企画グループ 企画担当部長

田中 真琴

第二部 平成 25 年度 KIIS 事業から

「e-Kansai レポート 2014」

事業推進グループ リーダー・主任研究員

石橋 裕基

「情報セキュリティ人材育成事業」

事業推進グループ 研究員

六井 奈菜

「スマートヘルスケア産業創出事業」

新事業開発グループ リーダー

西田 佳弘

第三部【招待講演】

「JIPDEC JCAN 証明書を利用して新たなステージに向かう電子契約」

有限会社ビジネスサポートエム

御田村 瑞恵 氏

参加者：106 名

3. 新春講演会及び賀詞交歓会

開催日：平成 27 年 1 月 15 日（木）

場 所：シティプラザ大阪

内 容：①特別講演会

「平成 27 年度 情報政策の重点」について

経済産業省商務情報政策局地域情報化人材育成推進室長 小池 雅行 氏

②賀詞交歓会

参加者：191 名

4. KIIS メールマガジン、ホームページ

当財団のイベントや関連団体などの情報をメールマガジン、当財団ホームページ、「きりんず」において配信した。また、facebook においてもイベント情報を配信した。

以 上